

線香に起因する火災

火災概要

一般住宅の2階居室内において、床面及び内壁並びにゴミ箱等の収容物の一部が焼損した「ぼや」の建物火災です。居室内では、火災発生前まで線香が使用されており、この線香を仏壇の横に置いている籐製のゴミ箱に捨てた後外出し、帰宅したところ、家の中は煙が漂っている状態で、確認すると、2階の居室内にあるゴミ箱が燃えていたので、水を掛けて消火したものです。なお、この火災による死傷者等は発生していません。



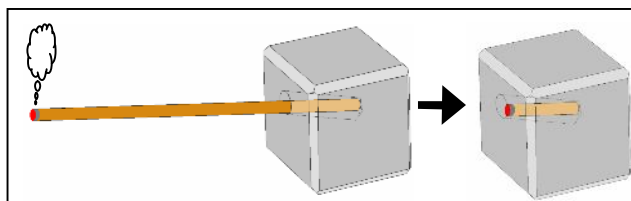
※仏壇で使用していた線香及び線香立ての状況。線香の末端部を穴の空いたアクリル製の線香立てに差し込んで使用するタイプです。



※家人から火災前のゴミ箱の状況を教えてもらい、その状態に再現した状況。(中身：ティッシュペーパー・紙くず等)



※左の写真の状況のゴミ箱に火の着いた線香を落とした約1.2分後の状況。激しく炎を上げて燃えています。



左の図のように線香は燃焼とともに短くなり、アクリル製の線香立ての穴(約6mm)に隠れてしまうため、火が残っていることに気付かず、ゴミ箱に捨ててしまったと考えられます。

原因概要

この火災は、よく確認しないまま火が消えていると思い込み、実際にはまだ火の着いている線香を、多くのティッシュペーパーや紙くず等が捨てられているゴミ箱内に捨ててしまったため、ティッシュペーパーや紙くず等に着火し、無炎燃焼(炎は出ないが、焦げていく燃焼が続く状態)を継続した後、時間の経過とともに蓄熱が進み、有炎燃焼(炎を上げて燃える状態)に移行し、付近の収容物に延焼拡大したものです。

類似火災の防止対策

このような火災を起こさないためにも、以下のことに十分注意するようにして下さい。

- * 線香や煙草等をゴミ箱に捨てる場合は、使用後或いは喫煙後すぐに捨てるのではなく、必ず一度水に漬けた後、消えていることを十分確認してから捨てるようにする。
 - * 水に漬けて消すことを、自分だけではなく、家族にも習慣付ける。
 - * 使用中はその場を離れない。その場を離れる時は、必ず消してから移動する。
 - * 外箱等に注意書きが記載されている場合は、よく読み正しく使用する。
- …**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**…